

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）

（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

平成 26 年 10 月分（7 月 31 日現在）

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況	発生場所
1	H26.10.7	燃料集合体 （ウラン燃料を被覆管 の中に詰め込んだ燃料 棒を束ねたもの）	使用済燃料プールに貯蔵保管している燃料集合体の点検において、燃料集合体 1 体の上部に薄片状の物体があることを確認した。 その後の回収作業中に当該異物が燃料集合体内部に落下し、回収が困難となったため、当該燃料集合体を今後使用しないこととした。	処置済み	原子炉 建 屋
2	H26.10.8	換気空調冷却水設備 （建屋内の空調設備に 冷水（非放射性）を供給する設備）	4 台ある換気空調冷却水設備のうち 1 台において、当該設備の弁の作動試験を実施したところ、弁を操作するためのコントローラからの弁開度信号と現場の弁開度が一致しないことを確認した。 原因調査の結果、コントローラ内の変換器から現場の弁へ送る弁開度信号がずれていたことによるものと推定した。 このため、コントローラからの弁開度信号を調整した。	処置済み	タービン 建 屋

3	H26.10.13	<p>補助ボイラー設備 （発電所の各系統で使用する非放射性の蒸気を供給する設備）</p>	<p>補助ボイラー設備 1 系統に 2 台ある補助ボイラー給水ポンプのうち 1 台において、給水ポンプ出口逆止弁の点検時に弁体固定部から水のにじみを確認したため、固定部のボルトを増し締めしたところ、当該ボルトが折損した。 このため、当該ボルトを交換し復旧した。 原因調査の結果、ボルトが特殊な形状であったが、それを考慮せずに増し締めしたことにより折損したものと推定した。 このため、特殊な形状のボルトを採用している弁を把握した上で、特殊な形状のボルトを締める際には、締め過ぎに注意することを工事仕様書に反映した。</p>	処置済み	補助ボイラー建屋
4	H26.10.14	<p>プロセス計算機 （プラントの運転状態の監視・管理の補助設備）</p>	<p>プロセス計算機において、通信障害を示す警報が発生したため、当該設備を確認したところ、事務本館のモニタ 2 台がデータを表示していないことを確認した。 当該設備を確認したところ、事務本館のモニタとデータの送受信するためのインターフェース装置に異常が確認された。 このため、当該装置の取替えを行い、復旧した。</p>	処置済み	事務本館
5	H26.10.23	<p>給排水処理設備 脱水機 （発電所にて使用する純水等を製造し、発生した排水の凝集物を処理する設備）</p>	<p>給排水処理設備の脱水機において、凝集物の水分を取り除く部品の一部が脱落しそうになっていることを確認した。 このため、当該部品を正しい位置に取り付け復旧した。 原因調査の結果、脱水機の運転に伴い、当該部品を固定する溝の形状変化が進行したため本事象に至ったものと推定した。 このため、当該部品の固定方法をネジ式に変更した。</p>	処置済み	給排水処理建屋

6	H26.10.31	制御棒駆動機構自動交換機用計算機 （制御棒駆動機構の脱着状況を監視・管理する設備）	制御棒駆動機構自動交換機用計算機において、当該計算機を起動させたところ、操作画面に移行しないことを確認した。 原因調査の結果、計算機の起動用プログラムのメモリーが偶発的に故障したものと推定した。 このため、当該部品を交換し復旧した。	処置済み	原子炉 建屋
---	-----------	--	--	------	-----------

・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の状況をいいます。

- ・対応中：要求事項を満足する状態に復旧中です。
- ・補修済み・取替済み・復旧済み：要求事項を満足する状態に復旧済みです。
 今後、原因調査、対策等を講じます。
- ・処置済み：要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。
 なお、今後、水平展開について検討・対応します。

・今月の更新箇所は下線で示しています。